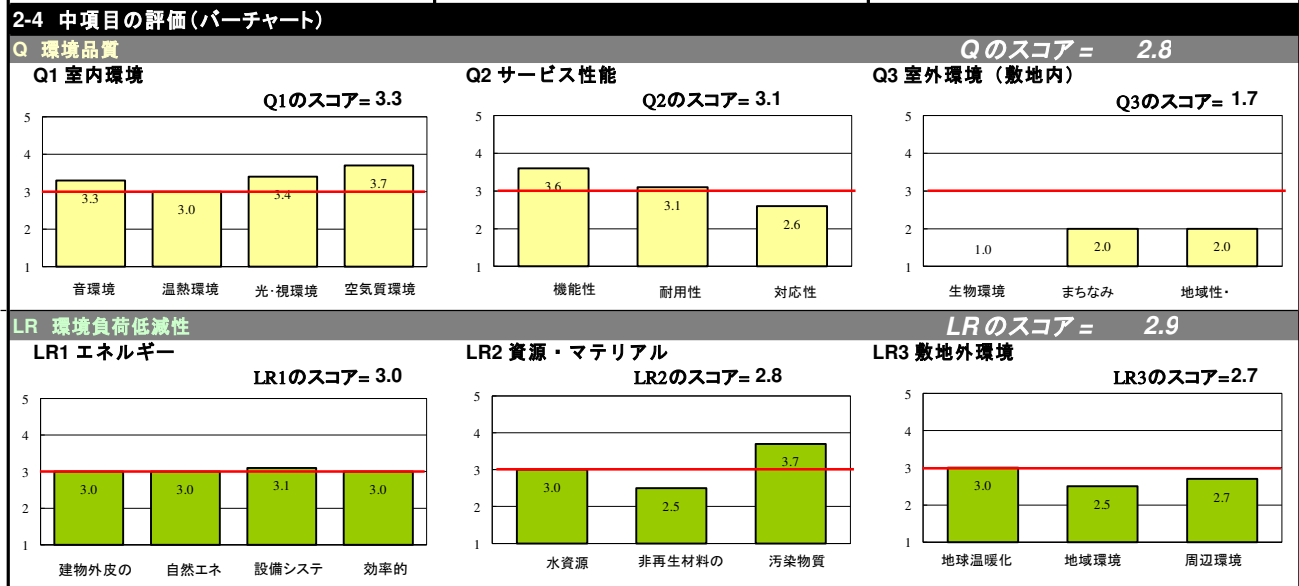
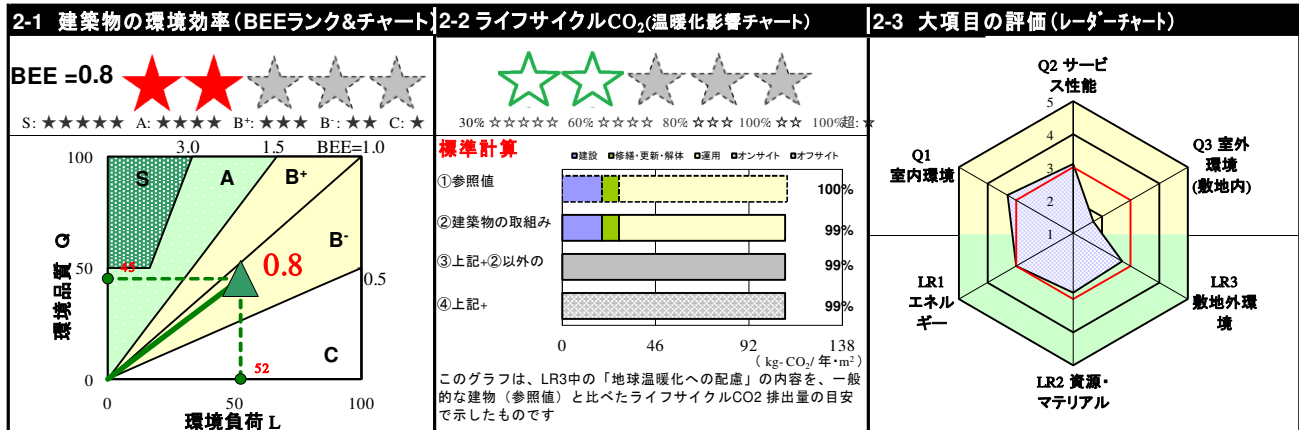
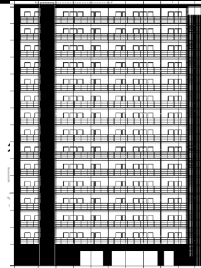


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東大阪市菱江3マンション新築	階数	地上15階、地下0階
建設地	大阪府東大阪市菱江	構造	RC造
用途地域	防火地域、近隣商業市域	平均居住人員	140 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年8月 予定	評価の実施日	2024年12月10日
敷地面積	829 m ²	作成者	株式会社プライム・デザイン 沖野 洋一
建築面積	338 m ²	確認日	2024年12月20日
延床面積	3,685 m ²	確認者	株式会社プライム・デザイン 沖野 洋一



3 設計上の配慮事項		
総合	全面的なF☆☆☆☆の採用、給排水配管において更新必要間隔の長い配管の採用など、室内環境やサービス性能に特化しています。	その他 特になし。
Q1 室内環境	F☆☆☆☆を全面的に採用しています。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	特になし。	LR3 敷地外環境 特になし。
Q2 サービス性能	給排水配管において更新必要間隔の長い配管を使用しています。	
LR2 資源・マテリアル	外壁に使用する断熱材において吹付ウレタンA種1Hを採用しています。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)東大阪市菱江3マンション新築工事						
建設地		大阪府東大阪市菱江						
用途／区分		集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						Bー	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	断熱性能						3	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分					3	
④	エネルギー消費性能						3	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分					1	
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分	評価対象外				評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

	エネルギー消費量の報告	対象外
--	-------------	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮	3.0	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2. 2 温熱環境悪化の改善	2.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制	3.0	3
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化	3.1	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		